

医療介護連携に関する課題

時津町 グループ

(ア) 地域の医療・介護の資源の把握
<ul style="list-style-type: none">・社会、地域に薬剤師として在宅医療に参加できることをアピールする・情報収集（あじさいネット、顔の見える連携づくりの場への積極的参加・町内の地域資源の見学ツアーをする。資源を知る。・24時間巡回診療所
(イ) 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討
<ul style="list-style-type: none">・入院期間のDr.への情報還元（Dr.への在宅生活の意識付け）・健康寿命の延伸
(ウ) 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進
<ul style="list-style-type: none">・Nsと地域へ薬剤師・入院が予定されている患者さんや家族には退院時に必要な情報を伝える手段を説明する・初回アセスメント時に（在宅）薬局の確認を行う（CMと服薬管理における意識強化）
(エ) 医療・介護関係者の情報共有の支援
<ul style="list-style-type: none">・連携体制・月に1回、2回でよいから「地域カフェ」に集まれる会等を開催すべく声をかけてみたい 持参するには名刺のみ
(オ) 在宅医療・介護連携に関する相談支援
<ul style="list-style-type: none">・相談窓口についての広報、周知・包括における、相談日を決め行う・わかりやすい介護保険の説明を地区で講習おこなう・地域補遺カツセンターへ相談に行くよう服薬指導時に患者さんに伝える
(カ) 医療・介護関係者の研修
<ul style="list-style-type: none">・各職種の質の向上、(スキルアップ)をはかるための研修会をする・介護職の地位向上・多職種で顔の見える関係づくり(懇親会)・職種間連携の取り組みにあたり、資料作成や講師謝礼及び会場借り上げ料等の支援が出来ないか考えたい・多職種勉強会業種別勉強会などによる関係づくり・他職種での勉強会や意見交換会に参加する・町内で月1度の多職種連携の(顔合わせ)を行う、医師含む・薬剤師同士のつながりづくり・精神科疾患患者さんの町ぐるみの取り組みに薬局もかかわる・町内の多職種間で顔の見える関係を作る。まずはざっくばらんに！！・定期的な他職種とのつながりの場を設ける
(キ) 地域住民への普及啓発
<ul style="list-style-type: none">・町内の介護に関わる事業所のマップを作る・健康な高齢者に対する介護ボランティア育成・薬局から患者さん向けの勉強会
(ク) 在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携
<ul style="list-style-type: none">・長崎市との関係機関(特に相談支援事業所)との連携の場をつくる

医療介護連携に関する課題

時津町 グループ

(ア) 地域の医療・介護の資源の把握
<ul style="list-style-type: none">・利用サービス施設資源一覧・時津町の一覧を作成する・時津町多職種でメーリングリストを作り、問題、相談事例などの共有
(イ) 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討
<ul style="list-style-type: none">・地域ケア会議の開催（ケアマネが困難に感じていること、多職種が一同に集まって方向性を共有する）・事例検討会 問題となるメインの職種にアドバイスがもらえるように調整する 協力事業先のピックアップ・担当者会議に医師、薬剤師に声かけてみる
(ウ) 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進
<ul style="list-style-type: none">・なし
(エ) 医療・介護関係者の情報共有の支援
<ul style="list-style-type: none">・利用者の方がどちらの薬局を利用されているか把握し、連携が取れるようにする必要がある・介護職の方が患者の服薬状況などを医師に伝えにくいことがあれば、薬剤師に連絡して活用してほしい・医師へ在宅指導を活用してもらう・主治医への連絡報告をしやすくする 「報告ノート」等。（時津町として取り組みますとか、全体的に進める）・残薬や服用について、薬剤師に相談する・ケアマネジャーが利用者の定期受診に一度同席する・主治医の先生への報告相談を行っていきたい
(オ) 在宅医療・介護連携に関する相談支援
<ul style="list-style-type: none">・なし
(カ) 医療・介護関係者の研修
<ul style="list-style-type: none">・連携について。薬局間でも、在宅、介護に関わり方に差があるので、地域の薬局同士でサポートするなどの体制づくりが必要・各職種の長に協力を求める。各職種にアナウンスしてもらう・職種別研修 時津町として全施設にアナウンス、まずは協力する意識を職種全体で高める・医療 地域。連携（多職種）研修会への参加・他職種の研修会に参加・ケアプランに生かせる・研修会、地域づくりイベント等協働作業を・看護 介護。連携。情報共有、文面だけでなく実演研修など・医療介護の研修会の参加者を多くする・長与町と比較したときに介護福祉士基礎職としたケアマネジャーが多い。医療の勉強、疾患、薬の効果について継続的に学べる研修会の企画
(キ) 地域住民への普及啓発
<ul style="list-style-type: none">・相談できる場を設ける（まつり、研修会、老人会も）
(ク) 在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携
<ul style="list-style-type: none">・なし
不 明
<ul style="list-style-type: none">・家族の介護力不足を軽くするためにサービスを使いたがらない、介護の必要な方）傾職ボランティアの育成と派遣を（社会福祉協議会にて）

医療介護連携に関する課題

時津町 グループ

(ア) 地域の医療・介護の資源の把握
<ul style="list-style-type: none">・連携協議会でお顔合わせ交流会（研修会）を行う・連絡研修会に参加する・介護予防も含めて、時津町が取り組んでいる事業をまとめる・情報の更新・薬局で医療、介護資源を住民に伝えられるようにする（包括で作成されたマップなどを利用）・フローチャートというかマニュアル作成。専門職向け、利用者さん向け
(イ) 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討
<ul style="list-style-type: none">・住民のニーズや課題を把握する
(ウ) 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進
<ul style="list-style-type: none">・医員様、薬局様を訪問する。お顔なじみ・定期的な事業所への訪問
(エ) 医療・介護関係者の情報共有の支援
<ul style="list-style-type: none">・長期入院となった患者の担当ケアマネへの情報提供をこまめに行う
(オ) 在宅医療・介護連携に関する相談支援
<ul style="list-style-type: none">・費用の相談。利用者さんが選択できる、利用したいサービスと費用・各関係各種担当が集まり、無料相談カフェを開催する
(カ) 医療・介護関係者の研修
<ul style="list-style-type: none">・地域で行っている活動について、多職種参加の勉強会・町内薬局が連携し、テーマを決めて取り組む。例：残薬回収の取り組み・町内薬局がテーマを決めて取り組む。例：高血圧について服薬の重要性を健康指導・職種間の交流の場を設定する・医療に関する研修会を介護事業所に向けて行う・医療、介護に関わる人たちにはどのような方々がいて、どんな相談にのれるかといったことが分かるようなシステムがあればいい・仕事の内容の把握、各専門職でできること（相談をどこで受けても回答が出来るよう）・医療、介護者お互いが理解し合えるようにする・顔が見える会等を定期的に行う・薬局で出来ることを多職種に知ってもらう
(キ) 地域住民への普及啓発
<ul style="list-style-type: none">・広報誌の内容を充実させ、他事業所へ配布し、病院の取り組みを理解してもらう・それぞれが出来ることを包括に集約し、ケアマネや住民に発信する・介護予防事業に参加する・入院患者、家族に対して地域の活動等、情報提供を行う・地域包括支援センターを周知する
(ク) 在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携
<ul style="list-style-type: none">・行政からの働きかけ

医療介護連携に関する課題

時津町 21 グループ

(ア) 地域の医療・介護の資源の把握
<ul style="list-style-type: none">・相談窓口（行政）地域包括支援センターまでの窓口・住民の方へのパンフレット map 提供、提案・特別養護老人ホーム、老人保健施設をもう1つ事業所が欲しい
(イ) 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討
<ul style="list-style-type: none">・各職種の仕事説明会をおこなう・担当者会議等に参加して他職種と連携をとるようにする。・職種の顔合わせ、コミュニケーション・介護者の情報共有・町内に職種を問わない交流場（図書館みたいな）を作る・何をどこにもって行けばいいのかわかりにくいので、お互いの職種についてどのようなことをしているかの場を作る・誰でも参加できる医療介護連携会議をしたい
(ウ) 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進
<ul style="list-style-type: none">・文章で情報共有できるようなものを作る・連携。医療介護に共通の情報ツールが欲しい・相談者からの相談時最終的に相談する窓口につなげるツールをつくる
(エ) 医療・介護関係者の情報共有の支援
<ul style="list-style-type: none">・認知症独居者受診、民生委員、地域包括連携室等の連携強化、時津民生委員情報を医療機関へ配布
(オ) 在宅医療・介護連携に関する相談支援
<ul style="list-style-type: none">・なし
(カ) 医療・介護関係者の研修
<ul style="list-style-type: none">・どんな職種の人でも参加できる研修の場を定期的にする・(介護)(医療)対応力の差をなくす研修会等を行う・患者さん等に、地域医療の実情を伝えられるよう、カフェ、介護申請者等多岐に渡って、自分自身が理解するよう努力する
(キ) 地域住民への普及啓発
<ul style="list-style-type: none">・どんな職種の人でも参加できる研修の場を定期的にする・(介護)(医療)対応力の差をなくす研修会等を行う・患者さん等に、地域医療の実情を伝えられるよう、カフェ、介護申請者等多岐に渡って、自分自身が理解するよう努力する
(ク) 在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携
<ul style="list-style-type: none">・顔が見える関係、飲みニケーションを開催したい